

御食国・淡路島 (道の駅うずしお)

ふちんかん

そりゃあもうね、淡路島と言えば奈良時代より御食国（みけつくに）として有名なところなんで、「うまい昼飯こそすべて」を標榜する我々としては、贅を尽くしまくる所存でありますよ。

御食国とは日本古代から平安時代まで皇室・朝廷に海水産物を中心とした御食料を貢いだ国のこと。若狭・志摩と並び、多くの食材に恵まれた淡路島も古くから朝廷に数々の食材を納めてきました。

で、やってきました「道の駅うずしお」。ここは淡路島の南西端であり、鳴門海峡へつきだした岬の突端であり、鳴門海峡大橋の橋台に当たる部分であるわけです。

臨時駐車場からのバスを降りて少々坂を登った先にある「道の駅うずしお」に入ります。



時刻は12時半、まさにお昼時です。



お盆のハイシーズン、有名観光地ということでレストランに入るにも一苦労かと思いましたが、すんなりと案内されました。この施設は建物のほとんどをレストランが占めており、残りはお当地バーガーの販売ブースと物販コーナーとなっています。まさに御食国を具現化した施設といえましょう。

取材陣5名がおのおの淡路を味わうべく注文。

早く来ないかなあ〜〜しかししかし、なかなか料理は運ばれて来ません。そういえばと、T氏が入り口の看板に書かれていた注意書きを思い出します。

ああ注文から最低30分はかかるのね。確かにまわりを見渡してみても食べている人よりも待っている人の方が圧倒的に多かったです。あとでHPを見てみましたが、料理長も淡路の食材にこだわりのある人のように「一流の田舎料理」を念頭に丁寧な料理を心がけているとのこと。ファストフードが当たり前になってしまった我々にとって、



この「待つ」時間も、食事の大切な一部であると気づかせてくれましたですよ。とはいうものの、時間に余裕の無い人にとっては、かなりイライラする時間でありましょう。「うずしおレストラン」で食事を予定されている方々には、くれぐれも時間に余裕を持ってお越しくださいとアドバイスしておきますよ。我々は観潮船「ヘリオス」乗船まで3時間近くありますので余裕であります。



さてここまでの取材を振り返りつつ待つこと30分あまり、運ばれてきました、淡路の贅の数々であります。

🍴🍴🍴 白い海鮮丼

淡路島の地魚のうち、白身魚を使った刺身盛り合わせ。丼飯もついていて出汁とともに海鮮丼にして食べるというコンセプト。白身魚は日替わりで旬の魚が出てくるようで、鱸や太刀魚、鯛など6種盛りになってました。



鯛としらすの漁師飯 🍴🍴

地魚の代表格である「鯛」と期間限定の「しらす」のコラボ丼。ちなみに「しらす」とは一般にはカタクチイワシの稚魚のことで、普通は釜揚げにして白くなったものが出てくるわけですな。



🍴🍴🍴 生しらす丼かき玉汁

こちらは「生しらす」なので釜揚げ前のカタクチイワシであります。これはなかなかお目にかかれぬ。丼の上に塊で乗っている生しらすを、まずはわさび醤油で、次にかき玉汁に入れて、最後にかき玉汁を丼にかけて、と3段階で楽しむことができるというものであります。



🍴🍴🍴 淡路牛鉄火丼

鉄火丼と名乗ってはいるが、淡路牛のローストビーフをマグロにたとえたもの。

淡路島特産の玉ねぎスライスとともに玉ねぎドレッシングをかけて食します。

いやあ食べるのはイッキですね。本当はスローフードっぽく時間をかけて味わいたいところなのですが、朝が早かった取材陣 & 30分あまりの「おあずけ」の結果、そんなゆとりは無かったようです。配膳されてから20分も経たずにレストランを出ています。

さて食休みです。道の駅うずしおのある丘から少し下ると、そこは大鳴門橋の橋台部です。鳴門自動車道の下は鉄道橋としても想定されていた空間があり、その横の部分が遊歩道になっています。ここからは鳴門海峡全体を眺めることができますのでお勧めの散歩道であります。



軽く歩いて胃袋を整えますと、次はバーガーでありますよ！

あわじ島オニオンビーフバーガー



1	第1回全国ご当地バーガーグランプリ	別海ジャンボホタテバーガー
2	第2回全国ご当地バーガーグランプリ	別海ジャンボホタテバーガー
3	第3回全国ご当地バーガーグランプリ	あわじ島バーガー (オニオンビーフバーガー)
4	第4回全国ご当地バーガーグランプリ	まるごと！紀州梅バーガー
5	第5回全国ご当地バーガーグランプリ	まるごと！紀州梅バーガー
6	第6回全国ご当地バーガーグランプリ	皇山のジビエバーガー



あわじ島はとろろと甘い淡路産の玉ねぎが特徴です！

まあ取材陣でバーガーまで行っちゃったのは私だけですけどね…。

全国ご当地バーガーグランプリってのは、鳥取県起源の日本最大規模のご当地バーガーの祭典であります。で、「淡路島バーガー」は2013年の第3回大会でグランプリをとっているわけですね。お値段は600円！マクドなら6個買えますが…。写真のようにメインは玉ねぎのカツであります。玉ねぎカツはサクッとした食感とボリュームを受け持ちます。カツに載った淡路ビーフがトマトソースとともにメインの味つけとして全体を引っ張り、レタスやオニオン主体のトッピング類が鮮度と香りで彩りを添えます。そしてバンズがボリュームがあるのに柔らかくて香りが良くて、噛みつくと具材と一体になります。…これはイイ。



600円でも文句言いません。実は私、このバーガー2度目なんですけど、何度食べてもいいですね。

ちなみに一日一食限定の「前略、道の駅バーガー」・3340円なんてのもありますので、まあ話のネタにはなりますな。

さあハンバーガーの次は、ソフトクリームでありますよ！

あわじ島玉ねぎソフト&ギュッとみかんソフト&自凝凍塩ソフト



玉ねぎソフトに、みかんソフトに、ミルクソフト…。けっきょく全員がどれかを食べてました。さらに後の記事にある

「うずの丘大鳴門橋記念館」でも自凝凍塩(おのころしげくしお)ソフトを食べましたです。

ま、満腹っす。



おまけ 家族へのお土産のお菓子



上 炙り芋きんとん

きんとんをギュッと凝り固めたようなお菓子。小さいながら、お茶無しには食べられない程のねっとりとした濃縮された甘みが魅力っす。

下 鳴門金時タルト

こちらはわかりやすい。鳴門金時のスイートポテトをタルト台に乗せたお菓子。ボリュームがあるのでお土産に最適ですな。



さらにおまけ

自凝島神社付近で買ったおまんじゅう

淡路交通鉄道について聞き取りをするためにいった和菓子屋さんで買ったもの。…食べ過ぎ。(げふっ)

そういえば自凝島神社の無人販売で玉ねぎも買ったんだっつた。御食国万歳！